

社会福祉学専攻 博士課程 ●授与学位／博士(社会福祉学)

専攻の概要

社会福祉の専門研究者として自立して研究を進めることができる能力を養い、将来、社会福祉研究・教育の中心的な担い手となる人材の養成を目指すとともに、社会福祉の現場で社会福祉学を基盤とする高度な研究能力、指導力を備えた専門職業従事者として関連領域の専門職と協働して活躍できる人材の養成を目標としています。

社会福祉特別研究(研究指導科目) 担当教員

開講および担当教員は2026年度の実績であり、今後変更となる場合があります。

区 分	研究テーマ	指導教員	区 分	研究テーマ	指導教員
社会福祉理論・歴史・問題特別研究	障害問題	木全 和巳 教授	社会福祉実践・援助論特別研究	福祉住環境論	児玉 善郎 教授
社会福祉政策・計画論特別研究	福祉教育論	原田 正樹 教授		ジェンダーと社会福祉	末盛 慶 教授
	地域福祉政策	小松 理佐子 教授		司法福祉論	湯原 悦子 教授
	社会老年学・高齢者福祉論	斉藤 雅茂 教授		精神保健福祉論 反抑圧ソーシャルワーク	大谷 京子 教授
	地域福祉論 地域を基盤としたソーシャルワーク	川島 ゆり子 教授		ソーシャルワーク論	保正 友子 教授
	高齢者福祉論	中島 民恵子 教授		こども家庭福祉論	野尻 紀恵 教授

主な博士学位論文テーマ

- 民生委員が有する相談ネットワークの構造と活動における意欲・負担感に関する実証研究
- 民事司法における司法福祉の展開 -法律事務所における支援実践の分析-
- 被占領期における保育所政策の形成 -ステークホルダー間の相互関係を中心に-
- 予防的支援における診療所ソーシャルワーカーの役割に関する研究 -ソーシャルワークの実践レベルと予防レベルを分析枠組みとして-
- 日本の「親ばなれ子ばなれ」プロセスにおける関係の自律形成の理論的・実証的研究 -知的障害者支援における包括的セクシュアリティ教育の媒介的機能に着目して-
- 特別養護老人ホームにおける介護職員の職場定着プロセスに関する研究 -組織社会化の視点から-
- 地域包括ケアの統括化に関するデンマークと日本の比較研究 -ケアコーディネーター・まちづくり・高齢者参加を焦点として-
- 小児期発症慢性疾患患者の職業的自立に関する研究 -当事者の過程分析と支援機関の調査を通して-
- 世帯の社会的脆弱性に対するアセスメントと対話に向けた実践・実証研究 -介護支援専門員等への支援ツール開発・運用-
- 相談支援専門職に対する高齢者の援助要請の促進に関する研究 -福祉ニーズの深刻化リスクの低減に向けたポピュレーションアプローチの取組の方向性-
- スピリチュアルケアに取り組む支援者の二次的ペインとその実践的サポートに関する研究

修了要件

本研究科各専攻に3年以上在学し、必要な研究指導・論文執筆指導を受けた上、博士学位請求論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することを修了要件とします。

教育課程の構成

福祉社会開発研究科博士課程の教育課程は、選択制の授業科目と各専攻独自の特別研究指導科目で構成されています。

3年間の主な流れ(学位授与)

※専攻・年度により一部内容やスケジュールが異なります。

年次	1 年 次				
時期	5 月	9 月	10 月	2 月	5 月
事項	研究計画書 提 出	小論文 提 出 ※社会福祉学専攻のみ	研究科合同 論文構想 発表会	年次研究報告書 提 出	研究計画書 提 出